

第 6 回生命医薬情報学連合大会 (IIBMP2017)
(日本バイオインフォマティクス学会 2017 年年会)
開催趣意書

開催概要

- 開催日 : 2017 年 9 月 27 日 (水) ~ 29 日 (金)
開催場所 : 北海道大学 情報科学研究科棟
〒060-0814 北海道札幌市北区北 14 条西 9 丁目
URL : <http://iibmp.info/2017/>
テーマ : 進化する生命医薬情報学 ~ ビッグデータの真の理解に向けて
主催 : 日本バイオインフォマティクス学会 (JSBi)
日本オミックス医療学会
情報計算法学生物学会 (CBI 学会)
懇親会 : 28 日 (木) JR タワー36 階 スカイバンケットたいよう

開催趣旨

生命医薬分野の研究の進歩はめざましいものがあり、情報学はその一部に組み込まれているのではないかとこのほどに浸透しました。生命活動が生物の形態形成、生命維持、生殖などあらゆる場面において、広い意味での遺伝情報に基づいて行われていることから必然とも言えるべきですが、次世代シーケンシング技術をはじめとする、様々な生命現象を測定する技術の飛躍的発展や、膨大な可能性や組合せの網羅的探索への要求の増大など、様々な場面においてビッグデータの処理が求められるようになり、またハードウェアの飛躍的な発展も要求される水準に届くようになったという意味合いが大きいと思われます。

生物の持つ遺伝情報は長い進化の歴史の産物として形成されたものであると同時に、今まさにダイナミックに進化を続けています。そのスナップショットというべき、ヒトやそのほかの現生生物は非常に複雑で多様です。すべての多細胞生物は世代ごとに単細胞の時期を経て発生プログラムを展開してゆきます。また、生命維持の各段階においても、同様にプログラムが実行されてゆきます。しかしそのプログラム実行の仕組みはなじみの深いノイマン型のコンピュータの挙動に似て非なるものであり、それは生体を構成する分子とそのネットワークそのものが、高度に自己組織化した集合体であることが大きな要因となっています。つまり、DNA がもつ遺伝情報のみならず、それを支持す

る分子や構造さえもその挙動を変化させ得る実体として振る舞っており、多くの事実が明らかになってきているにも関わらず、疾患を含む様々な生命現象についての、まだ完全な理解には至っていません。高度に進化したこの遺伝情報は、「サルがキーボードをたたいてシェークスピアを著述するほど稀な現象」という表現をされたこともあります。現実にはサルが正しくない文字を打ったらすかさず訂正することによって、シェークスピア完成の確立を著しく高めてきたのです。この現象は、突然変異と自然淘汰の蓄積です。

個人ゲノム解析コストも当初目標の 1000 ドルを切り、10 年以内には 100 ドルに迫ると言われています。健康診断程度の費用で早期に罹患可能性を知ることができるようになり、副作用を最小限に効果的な投薬ができる時代も目前です。いまのところ次世代シーケンサから生み出される膨大なデータ処理には高速な情報処理が必要ですが、10 年の間には十分なデータ処理技術の向上が見込めるでしょう。これからの課題はむしろ、明らかにされたゲノム情報の適切な解釈のやり方に移ってゆくはずです。ゲノム状態の検査情報は明らかになっても、その意味する疾患可能性や回避すべき生活習慣・嗜好にたどり着くにはもう一段のステップが必要です。どのようなゲノム状態と生活習慣や嗜好が結びつく疾患につながるのかについては、ゲノム解析データと、医療情報を組合わせて初めて明らかにできることであり、その意味ではやっとロゼッタストーンを手に入れた段階ともいえます。ゲノム解析結果、生活習慣、嗜好の組合わせは膨大なビッグデータです。解明は必ずしも即時と言うわけには行きません。しかし、個人毎に最適な投薬や療法が確立すれば、副作用等に悩まされることもなく、医療費も劇的に低下させることが期待できます。そして複雑怪奇な暗号を解読するためのお膳立ては揃いつつあります。

モデル生物のゲノム配列のデータベース、遺伝子アノテーション、そして関連文献の膨大な蓄積、生命現象を理解するために必要な用語と概念の体系であるオントロジー、そしてそれらの統合化データベースなど、ヒトの健康へのフィードバックのみならず、各種資源あるいは環境構成要素としての生物への理解も深めてゆくための材料が調ってきています。こうした蓄積を進化学的視点から見ると、生命の共通性、ヒトやその他の生き物の成立過程、そしてその進化要因をも浮き彫りにすることが可能になってゆくことでしょう。また、各学問分野の融合によって初めて理解出来ることも多いはずです。

日本バイオインフォマティクス学会、情報計算化学生物学会、日本オミックス医療学会の 3 学会合同大会として 6 回目を迎える生命医薬情報学連合大会 (IIBMP2017) も、この進化を続けるダイナミックシステムのスナップショットと言うべき年次大会です。本

年は、北海道大学札幌キャンパス内の情報科学研究科およびフロンティア応用科学研究棟（鈴木章ホール）にて開催します。本大会では、遺伝情報やそれによって構成される生命と、そこからもたらされる様々な情報と知見を、生物学、医学、薬学、進化学、情報科学、個人情報など、様々な材料と視点から扱った研究の発表と分野の垣根を越えた議論の場となることを期待しています。この分野に関心をもつ多くの方々にぜひご参加ならびにご支援をお願いできれば幸いです。

大会長 遠藤俊徳

キーワード： 大量の遺伝情報、進化する情報としての生命、生命情報の多様性
使用言語：日本語（一部英語での発表も含む）

実行組織：

実行委員長	遠藤 俊徳	北海道大学大学院情報科学研究科
会場	長田 直樹	北海道大学大学院情報科学研究科
スポンサー・ランチョン	小柳 香奈子	北海道大学大学院情報科学研究科
HP・学会ポスター	瀧川 一学	北海道大学大学院情報科学研究科
企画	廣瀬 哲郎	北海道大学遺伝子病制御研究所
委員	伊藤 公人	北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター
公開セッション企画	五十嵐 学	北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター
委員	西平 順	北海道情報大学医療情報学部
委員	齋藤 静司	北海道情報大学医療情報学部
委員	荻島 創一	東北大学東北メディカル・メガバンク機構
委員	今西 規	東海大学医学部
委員	中川 草	東海大学医学部
前大会長	瀬々 潤	産業技術総合研究所
次年度大会長代理	荒川 和晴	慶應義塾大学
JSBi 年会幹事	五斗 進	京都大学化学研究所
JSBi 会長	木下 賢吾	東北大学大学院情報科学研究科

想定参加層	大学、研究機関、企業
想定参加者分野	生命情報科学、情報科学、生命科学、医学、薬学
想定参加者数	300 名

参加費（早期割引額）

会員	12,000 円（10,000 円）
非会員	17,000 円（15,000 円）
学生	4,000 円（3,000 円）

企業展示・セッション

スポンサーセッション、ランチョンセミナー、チュートリアル

種別	広告種別	予定価格	予定時間	募集	招待券
プラチナ 収容 180 名程度	プラチナ	25 万円	1.5 時間	2 社	6 枚
ゴールド 収容 70 名程度	ゴールド	15 万円	1.5 時間	2 社	5 枚
ランチョンセミナー （※弁当代別途）	ゴールド	15 万円	1 時間	6 社	4 枚

※ 1 食 1000 円程度

展示ブース（電源使用可, >500W 要相談）

広告種別	価格	ブース サイズ*	招待券
プラチナ	25 万円	2 枠	6 枚
ゴールド	15 万円	2 枠	5 枚
シルバー	10 万円	1 枠	3 枚
アカデミック 2	9 万円	2 枠	無し
アカデミック 1	6 万円	1 枠	無し

※アカデミックブース 2、及び 1 については 4 割引とし、招待券のご提供は無しとさせていただきます。

※ライトニングトーク（ポスター発表の 1 分紹介）にて宣伝を行う権利が付きます。

* 1 枠 W1800 D900 H2100 程度（平机つき）（予定）

Web・冊子掲載ロゴ種別詳細：

プラチナ	当ウェブサイトにもロゴの掲載、及び「プラチナスポンサー」表示。会場案内板にもロゴの表示。プログラムにモノクロ 2 ページの広告を掲載
ゴールド	当ウェブサイトにもロゴの掲載、及び「ゴールドスポンサー」表示。会場案内板にもロゴの表示。プログラムにモノクロ 1 ページの広告を掲載
シルバー	当ウェブサイトにもロゴの掲載、及び「シルバースポンサー」表示。
アカデミック 2	当ウェブサイトにもロゴの掲載、及び「ゴールドスポンサー」表示。会場案内板にもロゴの表示。プログラムにモノクロ 1 ページの広告を掲載
アカデミック 1	当ウェブサイトにもロゴの掲載、及び「シルバースポンサー」表示。

広告掲載・カタログ配布

- パンフレット広告 5 万円
 - ◇ プログラムにモノクロ 1 ページの広告を掲載。Web にシルバー相当のロゴ掲載
- Web へのロゴ掲載、もしくは、Web へのバナー広告掲載
 - ◇ 20 万円：プラチナ相当のロゴ及び 250x130 ピクセル相当の Web 広告
 - ◇ 10 万円：ゴールド相当のロゴ及び 200x100 ピクセル相当の Web 広告
 - ◇ 5 万円：シルバー相当のロゴ及び 150x80 ピクセル相当の Web 広告
- カatalog 配布 1 万円/100 部

寄付または賛助金 1 口 5 万円：免税措置なし

連絡先

第 6 回生命医薬情報学連合大会（IIBMP2017）実行委員会事務局

北海道大学大学院情報科学研究科 情報生物学研究室内

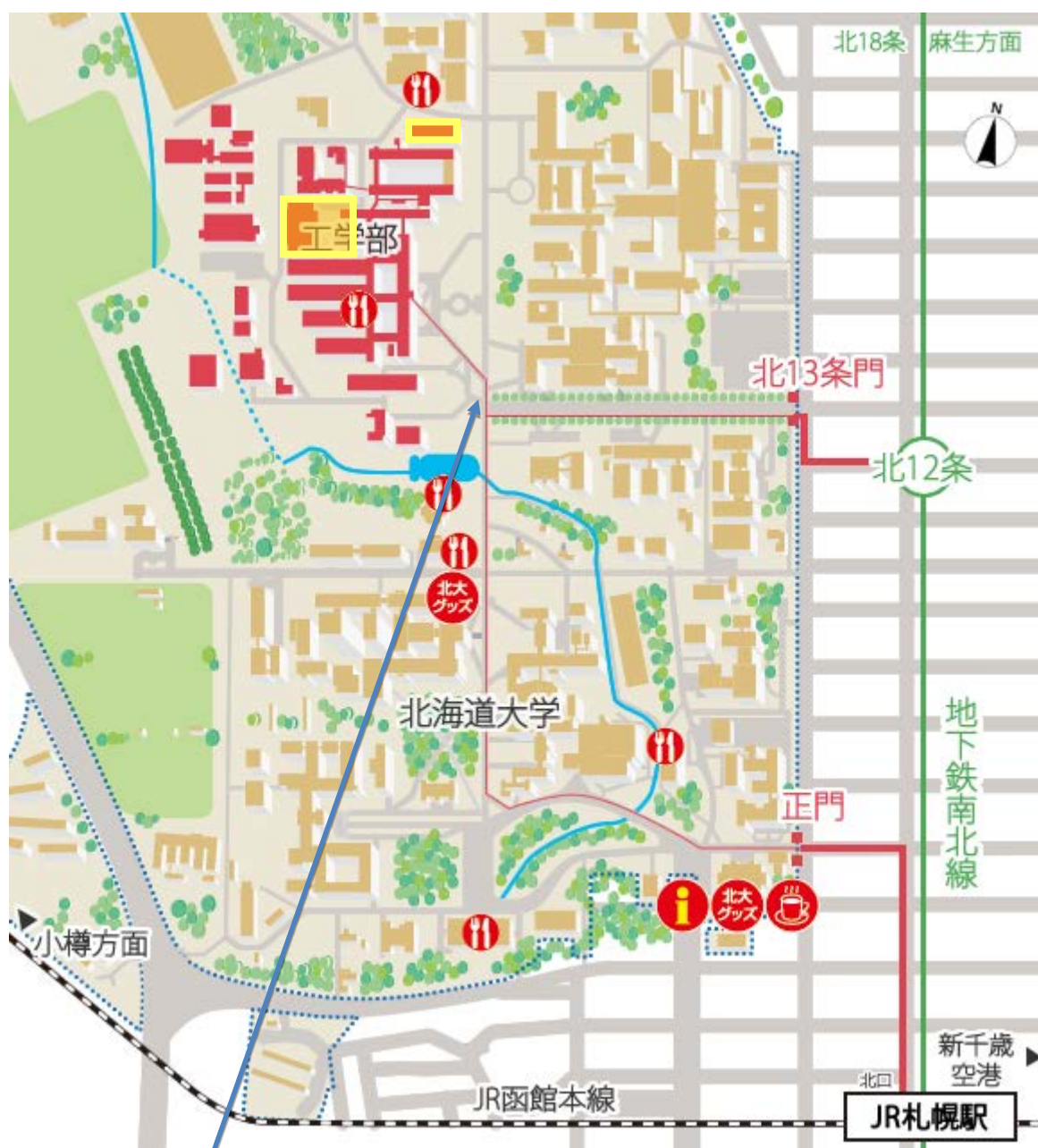
060-0814 北海道札幌市北区北 14 条西 9 丁目

電話番号：011-706-6547

URL：<http://iibmp.info/2017/>

メールアドレス：iibmp2017@jsbi.org（iibmp2017@googlegroups.com）

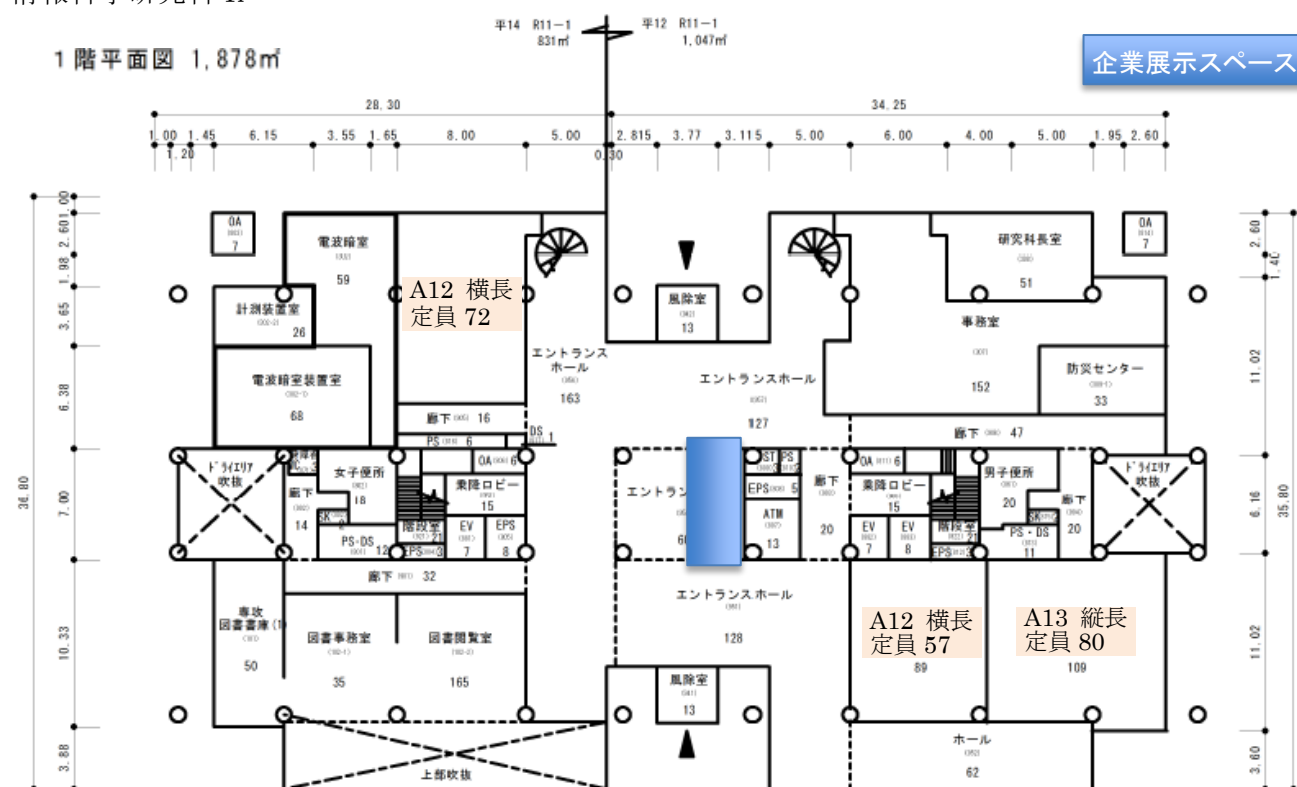
参考：会場案内図・見取図



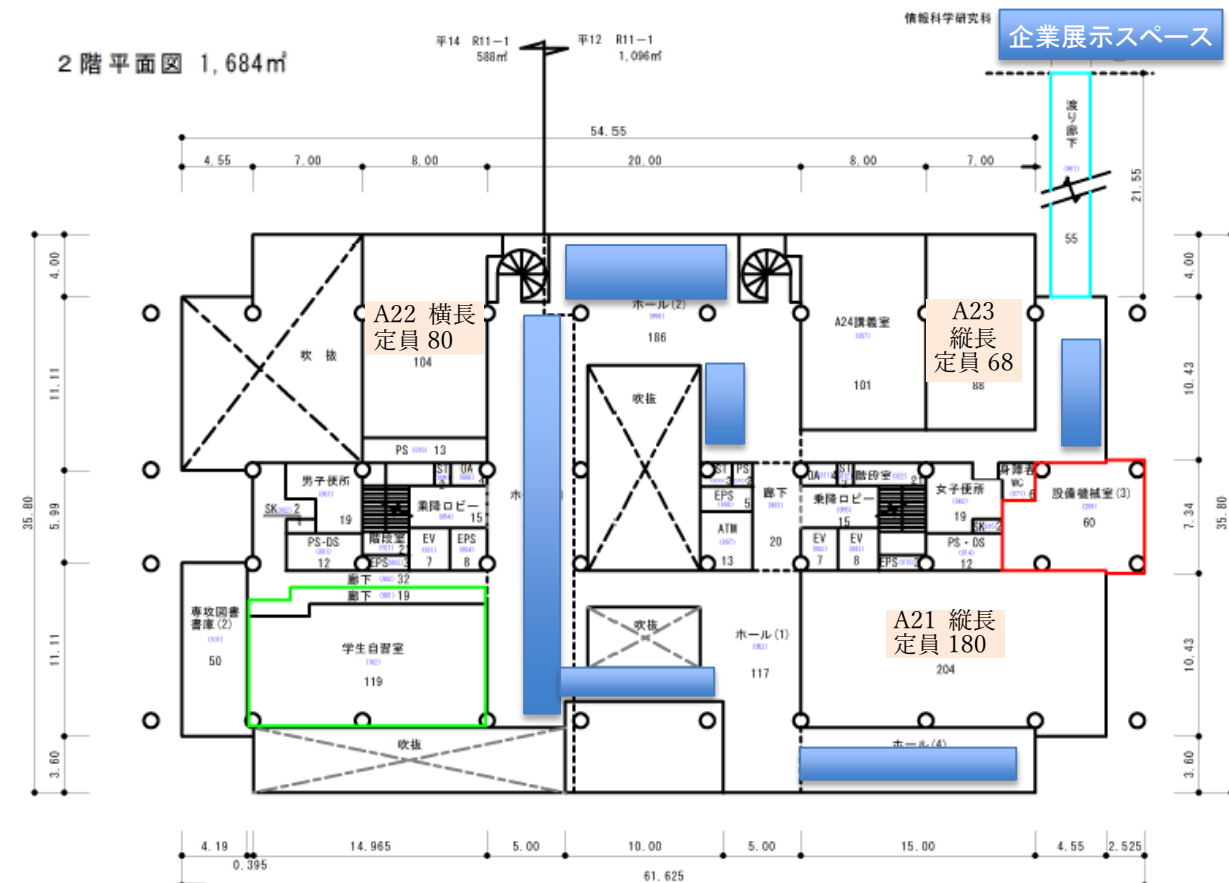
教室割当案

割当案	室番号	室名	面積 (㎡)	定員 (人)	予約担当	形態	備考
招待講演	鈴木章ホール		370.00	235	フロンティア	階段	シンポジウム会場
ポスター発表	フロンティア 2F ホワイエ		208.00	-	フロンティア		
ポスター発表	フロンティア 2F セミナー室		148.00	87	フロンティア		
休憩室	情 A11	講義室	94.80	72	学部	横長	机打付(移動不可)
クローク	情 A12	視聴覚室	88.88	57	学部	横長	机打付(移動不可)
クローク	情 A13	講義室	116.25	80	学部	縦長	机打付(移動不可)
A 会場	情 A21	視聴覚室	202.79	179	学部	縦長	机打付(移動不可)、一部階段
B 会場	情 A22	講義室	105.20	80	学部	横長	机打付(移動不可)
C 会場	情 A23	講義室	87.50	68	学部	縦長	机打付(移動不可)
事務局	情 A24	講義室	100.00	63	学部	横長	机打付(移動不可)
D 会場	情 A31	講義室	108.80	63	学部	縦長	机打付(移動不可)
(予備)	情 A32	講義室	78.40	48	学部	縦長	机打付(移動不可)
E 会場	情 A33	講義室	114.79	76	学部	縦長	机打付(移動不可)
(予備)	M151	講義室	113.40	105	学部	縦長	机打付(移動不可)
	情 3-21	中会議室	55.45	24	情総務		机可動・12人×2島
評議員会	情 5-08	会議室	49.70	36	情総務		机可動・囲み形配置
	情 6-05	演習室	51.66	36	情総務		机可動・囲み型やや狭い
	情 11-17	大会議室	95.00	40	情総務		机可動・囲み型 テーブルが大きい
企業展示	2F ロビー	共用スペース		-	情総務		
企業展示	2F 廊下				情総務		
企業展示	1F ロビー				情総務		

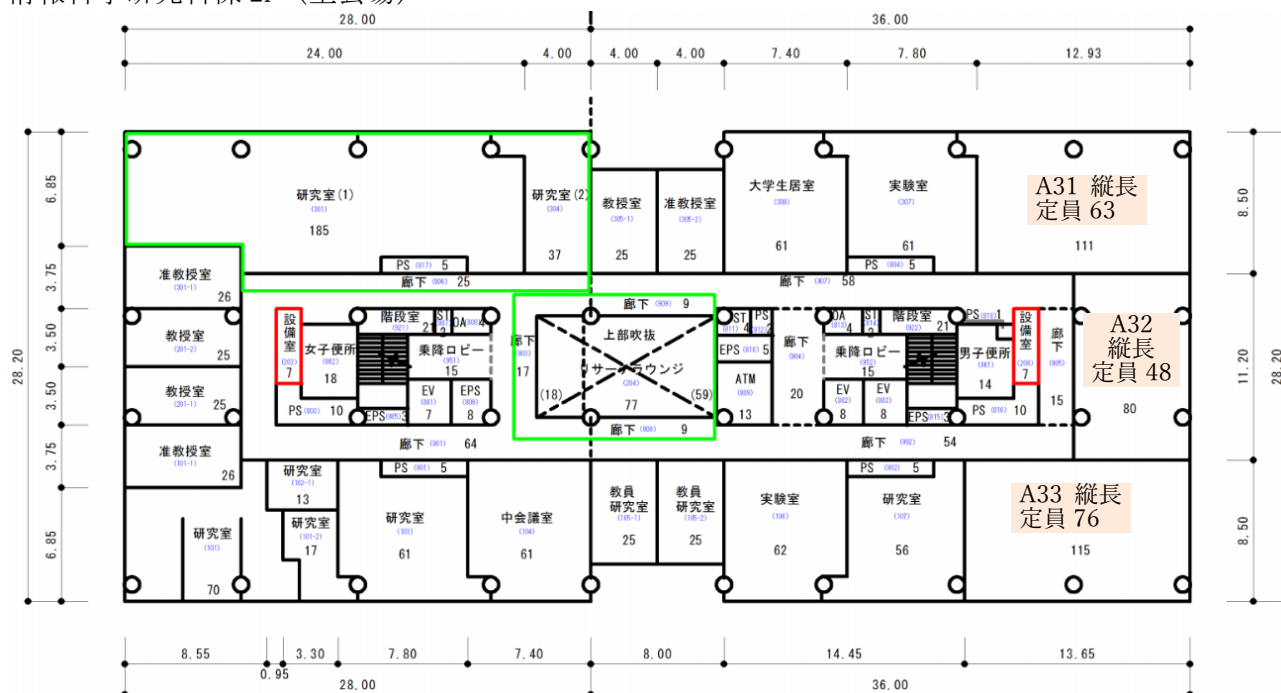
会場見取り図
情報科学研究科 1F



情報科学研究科棟 2F (主会場)



情報科学研究科棟 2F（主会場）



フロンティア応用科学研究棟（鈴木章ホール）



飲食不可

基調講演・招待講演
レクチャーホール

ポスター会場
セミナー室2 とホワイエを接続

改定履歴

初版	2016/12/22	
第5版	2017/04/26	概要・会場図・部屋割案修正
第6版	2017/04/27	スポンサー関連情報・JSBi 学会長更新
第7版	2017/05/2	誤字・URL・地図修正